



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ディー・ディー・エス 上場取引所 東  
 コード番号 3782 URL http://www.dds.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三吉野 健滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 小野寺 光広 TEL 052-955-5720  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	826	1.3	△158	—	△203	—	△207	—
2019年12月期第3四半期	815	57.0	△92	—	△218	—	△160	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △197百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △118百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△4.82	—
2019年12月期第3四半期	△3.85	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	3,378	2,756	80.4	57.23
2019年12月期	1,998	1,583	78.7	37.61

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,718百万円 2019年12月期 1,571百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,660	42.6	330	—	354	—	369	—	8.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）MICROMETRICS TECHNOLOGIES PTE. LTD.、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	47,490,300株	2019年12月期	41,790,300株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1株	2019年12月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	42,949,241株	2019年12月期3Q	41,540,941株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(企業結合等関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、大幅な悪化となった前四半期より若干回復傾向はみられたものの、低水準で推移しました。

当社の主たる事業領域である情報セキュリティ業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響だけでなく、昨年のWindows 7からのPC買い替え特需も無くなり、セキュリティの見直しも一段落つき、需要が低調になりつつあります。しかしながら、在宅勤務のためのテレワークの普及、移動出張自粛によるTV会議の拡大などによりセキュリティの重要性が高まりました。それと同時にクラウドサービスの活用も広まってきており、利用者サイドにおいては、パスワードにとってかわる、より安全かつより簡単な本人確認に対するニーズが引き続き拡大してきております。また、GIGAスクール構想における1人1台のデバイス普及を小学校1年生から中学校3年生まで広げ、非対面型ビジネスモデルへの転換には3/4の補助がされるなど、認証市場は大きく成長するチャンスを迎えております。さらに、いよいよApple社がFace ID・Touch ID対応をしたSafariをリリースし、実質的に使える状態になりFIDO2対応といえる状況になりました。

製品面においては、コロナ禍において普及が急速に進んでおります非対面化ビジネスにおいて、ランシステム様との製品連携により、時代にマッチしたソリューションとして推進しております。さらに、我が国が推し進めているGIGAスクール構想において小学校低学年でのログオン支援に適したQRコード対応にいち早く対応し、文教市場でシェアが高い販売パートナーから支持を得ております。また、パナソニック製顔認証エンジンをご提供いただける契約を締結し、製品化を急いでおります。

販売面においては、案件開拓力向上のため従来行ってきた展示会などは取りやめ、Webでのセミナーであるウェビナーに取り組みました。さらに営業活動も訪問型ではなく、Webミーティング・電話会議システムによるお客様との打ち合わせを行い、従来と違う手法で営業・マーケティング活動を行っております。

さらに、先述したパナソニック製顔認証エンジン搭載に伴いパナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社との協業や、株式会社日立製作所へのOEM販売契約締結など、強力な販売パートナーとの協業を獲得し、営業力強化に成功いたしました。

このような環境のなか、当社の主力事業であるクライアント・サーバーシステムEVEシリーズ・万能認証基盤Themisと指紋認証機器UBFシリーズを中心としたバイオ事業については、テレワーク対象者増加による追加購入を数多く受注し、概ねプロジェクトも順調ですが、プロジェクト遅延が若干見られ年度内売上計上が難しくなった案件も散見されるようになりました。

マガタマ・FIDO事業については、実質のFIDO2対応と言えるiOS版SafariのFace ID・Touch IDが9月リリースされました。検証も順調に進めており案件は進捗しておりますが、ここに来て景況感の悪化もあり未だサービスインには至っておりません。年度内のサービス化に向け努力しております。さらに非対面型ビジネスモデルの推進も非対面型サービス支援補助金等の活用が見込め順調に案件創出は出来ておりますが、サービス業の景況感は非常に悪くサービスインまでには至っておりません。

海外及び国内向け指紋センサ事業では、スマートフォン向けセンサモジュールとしての現行モデルを国内外のスマートフォンメーカーへ引き続き提案中です。海外状況としては、コロナ禍による渡航制限の影響で案件進捗が大幅に延伸しており受注、納品、売上の時期が見通しづらくなっております。国内状況としては、一部のスマートフォンメーカーより試作品は受注しておりますが量産受注には至っておりません。現行モデルでの営業提案と並行して顧客要望を受けた次期モデルの開発も早めます。米中貿易摩擦による中国製造でのサプライチェーンに大きな変化が起きており、今後は量産体制に於いて複数拠点での生産検討も必要な状況です。具体的には国内製造でのサプライチェーン構築も進めております。一方、海外向けシステム事業では、海外販売子会社でのシステム案件新規開拓により売上は引き続き増加傾向にあります。

こうした活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、826百万円(前年同期比1.3%増)となりました。損益面においては、販売費及び一般管理費は前年同期比で62百万円減となりました。

これらの結果、営業損失158百万円(前年同期は営業損失92百万円)、経常損失203百万円(前年同期は経常損失218百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失207百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失160百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、主として現金及び預金の増加(1,546百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて961百万円(61.5%)増加し、2,525百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金1,770百万円、売掛金326百万円、製品177百万円であります。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、主としてのれんの増加(346百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて418百万円(96.3%)増加し、853百万円となりました。この内訳は、有形固定資産278百万円、無形固定資産367百万円、投資その他の資産207百万円であります。

投資その他の資産のうち、投資有価証券は53百万円で、これは主にNokNokLabs. Incなどに対する出資金から構成されております。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、主として前受収益の増加(11百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて131百万円(42.1%)増加し、444百万円となりました。この主な内訳は、買掛金20百万円、賞与引当金49百万円、前受収益139百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、主として長期前受収益の増加(72百万円の増加)により、前連結会計年度末に比べて74百万円(72.7%)増加し、176百万円となりました。この主な内訳は、退職給付に係る負債31百万円、長期前受収益144百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,173百万円(74.1%)増加し、2,756百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2020年2月14日に開示しました通期連結業績予想から変更はありませんが、(1)経営成績に関する説明に記載しているとおり変動要素が多い為、修正が必要となりましたら速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	224,061	1,770,727
売掛金	757,005	326,092
電子記録債権	50,075	32,351
製品	127,191	177,655
短期貸付金	209,000	209,000
立替金	2,187	1,838
役員に対する短期貸付金	193,926	193,926
未収入金	250,901	2,950
その他	65,465	67,645
貸倒引当金	△315,942	△256,837
流動資産合計	1,563,872	2,525,350
固定資産		
有形固定資産		
土地	275,083	275,083
その他(純額)	2,355	3,489
有形固定資産合計	277,438	278,572
無形固定資産		
ソフトウェア	24,782	20,431
のれん	—	346,674
無形固定資産合計	24,782	367,105
投資その他の資産		
投資有価証券	55,271	53,376
関係会社株式	32,922	58,293
その他	83,407	124,294
貸倒引当金	△39,217	△28,301
投資その他の資産合計	132,382	207,662
固定資産合計	434,603	853,341
資産合計	1,998,476	3,378,692

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,668	20,039
未払法人税等	10,940	1,744
賞与引当金	4,612	49,855
前受収益	127,360	139,169
その他	125,380	234,060
流動負債合計	312,962	444,870
固定負債		
長期前受収益	72,552	144,971
退職給付に係る負債	29,709	31,935
繰延税金負債	170	—
固定負債合計	102,432	176,906
負債合計	415,394	621,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	763,842	1,435,872
資本剰余金	763,842	1,435,872
利益剰余金	183,163	△23,893
株主資本合計	1,710,847	2,847,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	△1,293
為替換算調整勘定	△139,419	△128,520
その他の包括利益累計額合計	△138,988	△129,813
新株予約権	11,222	3,447
非支配株主持分	—	35,430
純資産合計	1,583,081	2,756,914
負債純資産合計	1,998,476	3,378,692

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	815,801	826,154
売上原価	304,977	444,510
売上総利益	510,823	381,644
販売費及び一般管理費	603,266	540,532
営業損失(△)	△92,443	△158,888
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,609	2,988
その他	—	2,577
営業外収益合計	2,609	5,565
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	66,000	—
為替差損	58,630	47,307
租税公課	1,536	2,136
支払報酬	2,632	597
その他	102	106
営業外費用合計	128,901	50,147
経常損失(△)	△218,734	△203,470
特別利益		
新株予約権戻入益	60,389	—
特別利益合計	60,389	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△158,345	△203,470
法人税、住民税及び事業税	4,765	1,445
過年度法人税等	—	2,141
法人税等調整額	△3,088	—
法人税等合計	1,676	3,586
四半期純損失(△)	△160,021	△207,056
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160,021	△207,056



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△160,021	△207,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,011	△1,724
為替換算調整勘定	42,162	10,899
その他の包括利益合計	41,151	9,174
四半期包括利益	△118,870	△197,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,870	△197,882
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

当社は、2020年8月25日開催の取締役会においてMICROMETRICS TECHNOLOGIES PTE. LTDの株式を、当該株式を現物出資の対価とする第三者割当増資により取得し、子会社化する新株引受契約の締結を決議し、同日付で新株引受契約を締結しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 MICROMETRICS TECHNOLOGIES PTE. LTD (以下、MMT社)  
事業の内容 情報通信業 (指紋センサ等デバイス製造販売)

## (2) 企業結合を行った主な理由

これまでの事業範囲である指紋認証アルゴリズムの開発とそのライセンス事業から、新規事業範囲として指紋センサのハードウェアとそれに最適化されたアルゴリズムを同時進行で開発、その指紋認証アルゴリズム搭載センサの生産と販売で一貫した半導体事業を行う事による事業拡大を目指す事にあります。

## (3) 企業結合日

2020年8月25日 (みなし取得日 2020年9月30日)

## (4) 企業結合の法的形式

株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率	0%
企業結合日に取得した議決権比率	55%
取得後の議決権比率	55%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

第三者割当に対する現物出資を対価とした株式取得により、当社が被取得企業の議決権の55%を取得したためであります。

## 2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

当連結会計期間末日をみなし取得日としているため、当連結会計期間の連結財務諸表に被取得企業の業績は含まれておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及びその対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に所有していた株式の企業結合時における時価	一千円
企業結合日に追加取得した株式の時価	395,578
取得原価	395,578

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス・アドバイザー費用等	1,500千円
---------------------	---------

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれんの金額

346,674千円

なお、発生したのれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

主としてMMT社の今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

効果の発現する期間において均等償却する予定ですが、償却期間については取得原価の配分の結果をふまえて決定する予定であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月18日から9月30日までの間に、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社から第9回新株予約権の行使による払込みを受け、資本金が672百万円、資本準備金が672百万円が増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,435百万円、資本準備金が1,435百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	△3円85銭	△4円82銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失金額(千円)	△160,021	△207,056
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失金額(千円)	△160,021	△207,056
普通株式の期中平均株式数(株)	41,540,911	42,949,241

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。